

No.	10-2-13	場所	駒ヶ根市落合		次世代への継承キーワード
名称	倒壊した落合稚蚕飼育所			地域コミュニティ	
災害現象	公共施設の被災・土石流			河川	新宮川
補足事項				支流	

諏訪市
岡谷市
辰野町
箕輪町
南箕輪村
伊那市
高遠町
長谷村
宮田村
駒ヶ根市
飯島町
中川村
大鹿村
松川町
高森町
豊丘村
喬木村
上村
飯田市
南信濃村
清内路村
阿智村
浪合村
平谷村
下條村
阿南町
売木村
天龍村

上流でがけ崩れが約390ヶ所で発生し、土砂が新宮川に一気に流れ込んだ。竜東（伊那山地）では駒ヶ根市中沢新宮川、百々目木川流域一帯で、死者・行方不明5名、被災人員558名に及び人的被害と家屋や発電所の倒壊、橋の流失等の建物にも被害が生じた。

百々目木、大洞地区などでは、土石流によって60戸以上が流出全壊、農地のほとんどが失われた。

●体験談：△△

夜になり北側の本流の水嵩は多くなり、南側は大洞からの濁流により孤立してしました。稚蚕所の場所は二つの濁流に挟まれたが少し小高くなり建物は辛うじて助かった。夜中は物凄い水と石の流れる音で一睡も出来ないばかりか、いつ建物が流されるか心配で夜明けを待った。一略一翌朝になり、二人は完全に孤立してしまいましたが屋号荒井の木下さんの方々が握り飯を手ぬぐいに包み、川越しに投げて下さって空腹を凌いだと話された。その後午前10時頃中山側から消防団と竹村伝次郎さん（屋号向）がロープを持って決死の川渡りで無事二人を救出した。木下修身さんによると伝次郎さんは棒高跳びが得意でこん時はロープを体に結び、川の中へ棒をつき中州へ渡ったと話してくれました。

（「語りつぐ中沢の三六災害」p77 稚蚕所の先生孤立する）

記 録



土石流により倒壊した落合稚蚕飼育所

出典 駒ヶ根市の災害史」p.5/「語りつぐ中沢の三六災害」p77 稚蚕所の先生孤立する

備考 概要欄の< >は編者が補足説明したものです。

No.	10-2-13	場所	駒ヶ根市落合	緯度	35.720002
-----	---------	----	--------	----	-----------

名称	倒壊した落合稚蚕飼育所	経度	138.021069
----	-------------	----	------------

地図 広域図



地図 詳細図



備考 上記地図に表示されている、黄色の区域は「土砂災害警戒区域」（通称：イエローゾーン）といい、土砂災害のおそれがある区域を指します。また、赤色の区域は、「土砂災害特別警戒区域」（通称：レッドゾーン）といい、土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域を指します。